ベルトコンベヤ（土砂運搬施設）の概要

ベルトコンベヤ(土砂運搬施設)は、神戸の山と海を総延長約１４.５㎞で結ぶ、世界に誇る規模の施設です。昭和３９年の運転開始以来、４１年もの間「山、海へ行く」と謳われた神戸のまちづくりを支えてきましたが、平成１７年９月にその役目を終えました。

運搬施設の概要

- 延　　長　約14.5km
- 建設期間　昭和37年～平成元年
- 整備面積　2，956ha
  - ・土砂採取跡地団地　1,256ha
  - ・埋　　立　　地　1,700ha
- 運搬土量　約5億7千8百万t (約3億2千万m³)

(土砂採取を行った主な団地と運搬先)

地区名	高倉団地	横尾団地	名谷団地	総合運動公園	流通業務団地	研究学園都市	神戸複合産業団地
面　積(ha)	96	142	276	56	113	303	270
土砂採取年度	S36～50	S46～57	S48～54	S49～57	S49～H3	S55～H元	S63～H17
土 量(万m³)	5,300	4,300	1,000	700	2,900	3,700	10,400
運　搬　先	ポートアイランド	六甲アイランド			ポートアイランド(第2期)		神戸空港

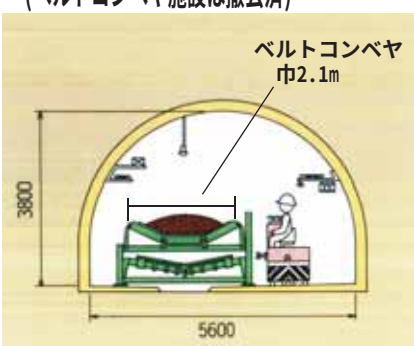
土砂を採取した跡地の住宅団地(名谷団地)

須磨船積桟橋から高倉団地へのベルトコンベヤ
（現在撤去済）

ベルトコンベヤ縦断図

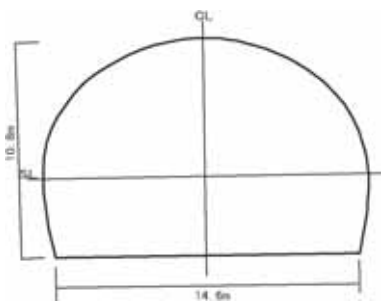
ベルトコンベヤ横断図

D系コンベヤトンネル(13.0～17.4㎡)
(ベルトコンベヤ施設は撤去済)

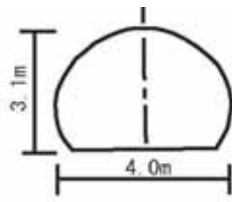


D3機械室

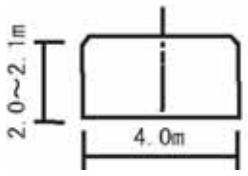
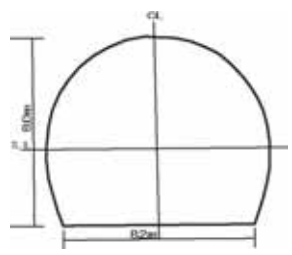
D3機械室(146.1㎡)



A系C系コンベヤトンネル（10.7㎡）



A系C系コンベヤ暗渠(8.0～8.4㎡)



〔参考〕 新幹線複線トンネル(65.6㎡)